

(社)日本原子力学会
第46回倫理委員会議事要旨

日 時 H21.9.18(金)9:30~11:50
場 所 東北大学環境科学研究科講義棟第2講義室
出席者 北村、大場、班目、小川、小沢、久保田、作田、杉本、谷、宮越、三好、
矢野(12名)
平山(常時参加者:担当副会長)

配布資料

- 資料46-1 第45回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料46-2 「2009年度秋の大会」企画セッションについて
- 資料46-3 第12回倫理研究会参加者アンケート回答集計結果
- 資料46-4 倫理規程改訂案見え消し
- 資料46-4 倫理委員会で審議を必要とする事項
- 資料46-5 第13回倫理研究会(志賀)について

議事

- 1.資料46-1により前回議事要旨を確認した。なお大場副委員長より、議事6.の倫理規程改訂の変遷のまとめは作業中である旨の報告があった。
- 2.資料46-2を用いて宮越委員より2009年秋の大会の企画セッションの内容の説明があった。学会誌に報告を載せること、それとは別にきちんとした記録も残すことを確認した。
- 3.資料46-3を用いて矢野委員から第12回原子力に関する倫理研究会の参加者アンケート集計結果の紹介があり、報告書のドラフトが回覧された。参加学生が研究会についての学会誌記事を執筆しており、コメントを返した段階であることが報告された。なお報告書に関しては、アンケートに自由に記載していただいたご意見への回答もできる限り書くこと、参加者の背景なども分かりやすいようにすることなどの意見があり、その方向で編集することとした。
- 4.班目幹事より資料46-4を用いて倫理規程改訂の現状報告があり、保留事項について議論した。前文2段落目に「規範」と記載したことにより、前文最後の「規範」との関係が不明確となったとの指摘があり、「その心構えと言行の規範」を「日本原子力学会倫理規程」と直すこととした。なお、運営申し合わせによると、公衆審査の後に改訂案を修正した場合は再度公衆審査にかけることとなっているが、修正内容は分かりやすい表現への変更などであり新しい内容を盛り込んだわけではないので、再度公衆審査にかけることなく委員会内での投票の後に最終改訂案を理事会に提案することとした。
- 5.大場副委員長から資料46-5を用いて平成22年2月の北陸電力志賀発電所での倫理研究会の説明があった。

- 6 .班目幹事より資料 46 - 4 を用いて次期委員会委員の募集に関する提案があった。現委員の退任希望者程度をホームページで公募することとし、公募文を確認した。大学教員や、ケースブックの事例を作成できる人材を増やすべく、各委員がリクルートに努めることとした。
- 7 .班目幹事より、学会から 2010 年春の年会企画セッションの提案依頼がきていることが紹介された。杉本委員、三好委員が担当することとし、「ルール of 形骸化と倫理」というテーマで北村俊郎氏に講師をお願いする方向で検討することとなった。ほかにも講師候補として小松原明哲氏、木下富雄氏、田邊氏などの名があがり、今後の企画に活かすこととした。
- 8 .班目幹事より、理事会から委員会規程の見直し依頼が来ている旨の紹介があり、小沢、久保田理事、平山副会長から補足説明があった。委員会規程の見直し内容については次回議論することとした。
- 9 .次回は 11 月 16 日午後を開催することとした。